

我が国が直面する現状・課題

- 本格化する人口減少や担い手不足
- 社会全体のデジタル化やイノベーション
- 気候変動問題やカーボンニュートラル
- 国際競争力の低下や不確実性が高まる国際情勢
- 大規模自然災害やインフラの老朽化

物流を取り巻く現状・課題

- 「物流革新に向けた政策パッケージ」等に基づく官民での取組の成果により、2024年度の約14%の輸送力不足を概ね解消し、2025年に入っても物流の機能を維持
- 一方で、2030年度までの物流革新の「集中改革期間」において、今後、担い手が深刻化する中で、必要な物流の機能を維持するための施策の具体化・深度化が必要

今後の物流施策の方向性

- 2030年度までの物流革新の「集中改革期間」において、従来にない対策を抜本的かつ計画的に講じることにより、将来にわたって物流の持続可能性を確保していくとともに、我が国の成長エンジンや極めて公共性の高いサービスとしての物流のポテンシャルを最大限に引き出すことが求められる。
- こうした認識の下、次期「物流大綱」が目指すべき今後の物流政策を、下記の5つの観点に分類し、国のみならず、物流事業者、発着荷主、一般消費者をはじめとした物流に携わるすべての関係者が一致団結して、各種の取組を推進。
 - 1 サービスの供給制約に対応した自動化・省人化等による物流効率化
 - 2 サプライチェーン全体の最適化に向けた商慣行の見直しや荷主・消費者の行動変容
 - 3 持続可能な物流サービスの提供に向けた物流人材の地位向上と労働環境の改善
 - 4 物流に携わる多様な関係者の連携・協力による物流標準化と物流DX・GXの推進
 - 5 我が国の国際競争力強化や災害対応等のためのサプライチェーンの高度化・強靱化

今後取り組むべき施策

1



サービスの供給制約に対応した自動化・省人化等による物流効率化

- ・ 自動運転をはじめとする**物流ネットワークの自動化**の推進
- ・ 物流業界の生産性向上等に向けた**輸送体系の再構築**と**インフラ整備**の推進
- ・ 地域を支える**ラストマイル配送**などの**持続可能な提供**の維持・確保
- ・ トラック運送業をはじめとする**物流産業全体の構造転換**の推進（トラック適正化2法など）

2



サプライチェーン全体の最適化に向けた商慣行の見直しや荷主・消費者の行動変容

- ・ 我が国の物流を支えるための**荷主・物流事業者・消費者等の連携・協力**の強化（改正物流法など）
- ・ トラック運送業をはじめとした**物流産業における取引環境の適正化**の推進

3



持続可能な物流サービスの提供に向けた物流人材の地位向上と労働環境の改善

- ・ トラック・倉庫・海技・港湾運送等の**物流人材の確保・育成**、**労働環境の改善**、**生産性向上**の推進
- ・ **トラックドライバーの休憩環境**の整備 ・ **輸送の安全確保**に向けた対策

等

4



物流に携わる多様な関係者の連携・協力による物流標準化と物流DX・GXの推進

- ・ **フィジカルインターネットの実現**に向けた物流標準化・デジタル化の推進
- ・ **2050年カーボンニュートラルの実現**に向けた物流全体の脱炭素化の推進

5



我が国の国際競争力強化や災害対応等のためのサプライチェーンの高度化・強靱化

- ・ サプライチェーンの高度化を通じた**我が国の物流の国際競争力強化**の実現（港湾ロジスティクスの強化など）
- ・ **地政学リスクや経済安全保障等**に対応した**強靱な物流システム**の構築
- ・ 大規模自然災害等に備えた**物流ネットワークの強靱化**